

学校教育目標「夢と希望をもち、心豊かにたくましく生きる子供を育てる。」



ポプラ

石巻市立和沢小学校

令和6年2月29日号

【賢く】(知)【美しく】(徳)【強く】(体)

子供たちの健全な成長のため「はやね・はやおき・あさごはん」「徒歩・自転車通学」を励行しましょう。

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20303200>

家庭でも「ありがとう」!

校長 松川 忠孝

令和5年度、子供たちが学校に登校する日も、残り14日間、6年生は、12日間となりました。今、1年生から5年生の子供たちは、1年間のまとめをしっかりと行い、6年生は、6年間のまとめをしっかりと行っています。

さて、毎年、この時期になると、「ありがとう」という言葉が多く使われます。私の大好きな言葉の一つです。この「ありがとう」という言葉を漢字で書くと「有難う」という字になります。その意味は、「めったにない事にめぐりあう」「珍しくてとても大切な事」という意味だそうです。

この「ありがとう」という言葉は、困っていて助けてもらったときや今まで、何かしてもらったとき、アドバイスをもらったとき、物をもらったとき、自分にとってうれしくなったときなどに相手に伝える言葉ですが、子供たちは、学校の友達や先生、地域の人に伝える事が多いようです。

でも、一番多く伝えなければいけないのは、家族ではないかと私は思っています。なぜかと言うと、「朝、起こす」「ご飯を作る」「学校に迎えに行く」「褒める」「叱る」等々、家族にしてもらっているからです。

「朝、起こしてもらるのが当たり前」「ご飯を作ってもらるのが当たり前」「学校に迎えに来てもらうのが当たり前」「褒めてもらうのが当たり前」等と思っている子供たちの方が多いのではないのでしょうか。

でも、子供たちが当たり前だと思っているこれらの事が、一切無くなってしまったら子供たちは大変なことになります。



子供たちにとって当たり前と感じていることは、実は「めったにない事」、「珍しくて非常に大切な事」が多いものです。もっと言えば、当たり前と感じていることが、「めったにない事」「珍しくてとても大切な事」だと感じていけば、今まで以上に「自分は、家族にいろいろとしてもらって幸せなんだ」という気持ちになれると思います。

さあ、自分も幸せな気持ちになり、相手もうれしい気持ちになれる。この「ありがとう」という魔法の言葉を子供たちが家庭でどんどん伝えられるように、雰囲気づくりや支援等よろしくお願ひしたいと思ひます。もちろん学校でも、これまで以上に、日常の学校生活や教育活動等で取り組んでいきます。今月も、学校へのご支援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



セーフティプロモーションスクール認証式

2月20日(火)にセーフティプロモーションスクール認証式が行われました。全校児童が見守る中で調印式が行われ、認証の盾と認証旗が贈呈されました。その後、5年生、6年生によるこれまでの防災活動についての発表が行われました。発表の内容や発表する態度、それを聞く姿勢の良さを来賓として来校された文部科学省の方からもお褒めのお言葉をいただきました。

セーフティプロモーションスクール(SPS)とは、「自助・共助・公助」の理念のもとに、学校独自の学校安全(生活安全・災害安全・交通安全)の推進を目的として中期目標、中期計画を明確に設定して、その目標と計画を達成するために継続的に実践できる学校として認証を受けたものです。

令和2年9月1日現在で、認証を受けているのは日本国内で19校園、海外で34校園です。



能登半島地震被災者へ募金

子供たちから能登半島地震による被災者へ募金活動を通して応援をしたいと申し出がありました。それを受けて、児童会が中心となり募金活動を行いました。保護者の皆様からは学習参観日にたくさんの募金をいただきました。子供たちからは、自分のお小遣いの中から募金をした子もいました。2月22日(木)に社会福祉協議会を通じて被災地へ届けていただきました。募金額は28,964円でした。

学校区パトロール

2月14日(火)に和っ小っ子見守り隊役員会と学校区パトロールが行われました。和っ小っ子見守り隊役員会では、風の強い日の自転車の乗り方が話題になりました。自動車に近づいた時には、自転車から降りてやり過ごすことも大切であるとお話がありました。また、自転車で道路の中央を走行している姿も見られるとのことでした。自転車の乗り方については十分注意が必要です。各学級でもさっそく指導しました。



和っ小ソーラン引継ぎ式・学習参観・懇談会

2月16日(金)の和っ小ソーラン引継ぎ式、学習参観、全体会、懇談会に参加いただき、ありがとうございました。和っ小ソーラン引継ぎ式では、5年生代表児童が「和っ小の伝統をしっかりと引き継いでいく」と決意を述べました。4年生児童も和っ小ソーランを堂々と踊りました。学習参観後の全体会では、来年度から始まる「週27時間授業」についての説明を真剣に聞いている姿に、保護者の皆様の学校教育に対する関心の高さを感じました。これからも子供たちが生き生きと学校生活を送れるよう一層努めてまいります。

